

---

## 「腹部大動脈瘤破裂に対する腹部大動脈人工血管置換術の治療成績」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの電子カルテの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2007年5月1日～2023年9月30日の期間に、埼玉医科大学国際医療センターで腹部大動脈瘤破裂に対して人工血管置換術を行った患者さん

#### 2. 研究の目的

腹部大動脈瘤に対する治療はステントグラフト内挿術（EVAR）が一般的となっており、腹部大動脈瘤破裂に関しても解剖学的要因を満たせばステントグラフト内挿術（EVAR）が第一選択とされています。一方、たとえステントグラフト内挿術（EVAR）であっても周術期死亡が多い手術となっています。当院では腹部大動脈瘤破裂に対して人工血管置換術を第一選択としておりその治療成績について後方視的に検討します。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2029年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

電子カルテから、年齢、性別、術前診断、手術日、手術方法、病型分類、手術範囲、瘤径、発症日、症状、Fitzgerald分類、術式、使用した人工血管の種類、オクルージョンバルーンの使用の有無、術前腎機能、術前の状態、挿管期間、術後気管切開の有無、術後新規透析の有無、術後腸管切除の

有無、ICU 滞在期間、入院期間、在院死亡の有無、最終フォローアップ日を調査します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である堀 優人が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

電子カルテから情報を収集します。

## 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 堀 優人（研究責任者）

## 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 堀 優人（担当者氏名）

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：腹部大動脈瘤破裂に対する腹部大動脈人工血管置換術の治療成績

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 堀 優人